

登録コード	TSH36500		開講年度	2026			
授業科目	並列分散システム特別実験					担当教員	和崎 克己
英文授業名	Parallel Distributed Systems Laboratory 2					副担当	
単位数	4	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室				授業形態	実験	備考	情報数理・融合システム分野 1・2年生
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				【授業の達成目標】		
	2 4 TSカリ						
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					・受講者が選択した題材（技術・手法）を計算機上に実装し、その特長、現実の性能等を理解できるようになる。	
	2 6 TSカリ， 2 5 TSカリ， 2 4 TSカリ						
	【専攻】専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					・受講者が選択した題材（技術・手法）を計算機上に実装し、その特長、現実の性能等を理解できるようになる。	
(2)授業の概要	研究課題に直接関係する分野の独自形式の実験を実施する。所属学生を中心とした、研究に関する調査・計画・実験・評価を行う。必要に応じて、国内外の共同関連研究者、学部学生等を交えた合同実験を連携して行う。 分散システムに関する最新の技術について、その実装を通して、各手法の実際の能力、問題点を理解することを目的とする。受講者が題材を選択し、各技術・手法を適用して計算機上に実装し、種々の実験を通して、各技術・手法の実際の性能評価、問題点、改善可能性の考察を行う。						
(3)授業計画	以下の調査・実験題目を選択し、指導教員の下、受講生が実験計画に基づき実施する。 1. 並列分散システム実験テーマ1 2. 並列分散システム実験テーマ2 3. 並列分散システム実験テーマ3 4. 並列分散システム実験テーマ4 5. 並列分散システム実験テーマ5 6. 並列分散システム実験テーマ6 7. 研究成果発表会						
(4)成績評価の方法	受講者毎のプロダクトおよび実装進捗状況のプレゼンテーション内容（技術・手法に対する理解度、現実の問題へ適用した場合の性能の評価や問題点の把握等）に基づいて総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	(i) 問題の設定が適切であり、(ii) その問題の背景を説明できており、(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており、(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できており、(v) その上で自分の見解を提示できており、かつ、教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。(i) から(v)の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「合格水準にある」。						
(6)事前事後学習の内容	受講者毎のプロダクトの作成を事前に行い、発表内容のアブストラクトとプレゼンテーションの準備を事前に行う。ディスカッション内容（技術・手法の改良、現実の問題へ適用した場合の性能の評価や問題点の指摘等）に基づいた纏めを事後に行う。						
(7)履修上の注意	指導教員から提示される授業Webページは逐次更新されるので注意して見ておくこと。						
(8)質問,相談への対応	質問は原則授業時間中に聞くのが望ましい。不在の場合は電子掲示板やメール・メーリングリストを用いて常時行う。						
(9)その他							
【教科書】	・ 指定しない						
【参考書】	・ 指導教員から随時提示提供される（Web、電子メール添付ファイルを含む）						